



1. 2026年1月の発生動向 (1月1日～1月31日)

1・1. 性感染症：県内の報告数は、次のとおりでした。

- 性器クラミジア感染症 23人(12月は21人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症 9人(12月は10人)
- 尖圭コンジローマ 5人(12月は8人)
- 淋菌感染症 11人(12月は2人)
- 淋菌感染症については、過去5年間の同時期における県全体の定点当たり報告数と比較して、かなり多い状況です。

1・2. 薬剤耐性菌感染症：県内の報告数は、次のとおりでした。

- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 1人(12月は0人)
- メチシリソ耐性黄色ブドウ球菌感染症 15人(12月は20人)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 0人(12月は0人)

1・3. 全数把握対象疾患：各保健所管内の報告数は、次のとおりでした。

- 結核 9人：中南1人、三戸1人、八戸市3人、上北3人、下北1人
- 腸管出血性大腸菌感染症 1人：上北1人
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人：青森市1人
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人：中南1人
- 侵襲性肺炎球菌感染症 3人：中南3人
- 水痘（入院例） 5人：青森市2人、八戸市3人
- 百日咳 4人：青森市2人、八戸市1人、下北1人

2. 性感染症発生状況

2-1. 年齢区分別報告数

(人)

年齢	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0										
1～4										
5～9										
10～14										
15～19	1	2				1			1	3
20～24	3	4		1		2	2	1	5	8
25～29	3	2		2		1	4		7	5
30～34	1	1		1			1		2	2
35～39				1		1		1		3
40～44	1	2		1				1	1	4
45～49	1	1	1	1					2	2
50～54	1									1
55～59										
60～64				1						1
65～69							1			1
70～										
合計	11	12	2	7	0	5	8	3	21	27

2-2. 保健所管内別定点当たり報告数

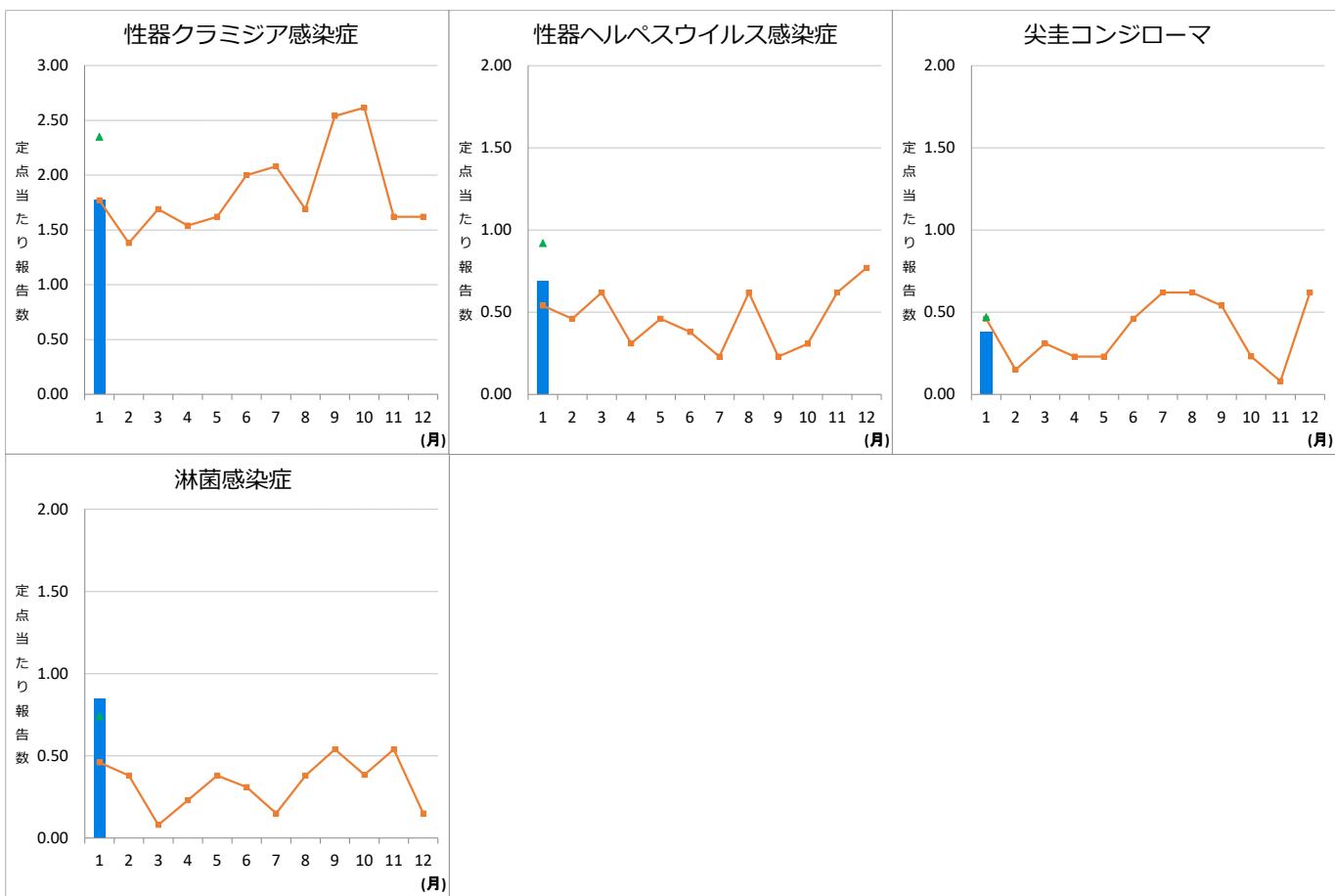
(人／定点)

	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
東津軽+青森市	0.67	1.67	—	0.33	—	—	0.67	1.00	1.33	3.00	4.33
中南	—	—	—	—	—	1.00	—	—	0.00	1.00	1.00
三戸+八戸市	3.50	3.00	1.00	0.50	—	1.00	2.50	—	7.00	4.50	11.50
西北	—	—	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00	0.00
上北	1.00	0.50	—	2.50	—	—	0.50	—	1.50	3.00	4.50
下北	—	—	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00	0.00

※四捨五入による数値処理のため、各疾患の性別の定点当たり報告数と性別の定点当たり報告数の合計が一致しない場合があります。

2-3. 青森県の定点当たり報告数推移

➡は2026年青森県、■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



3. 薬剤耐性菌感染症発生状況

3-1. 年齢区分別報告数

(人)

年齢	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0～9				1		
10～19				1		
20～29						
30～39			1			
40～49						
50～59			1			
60～69			1	1		
70～79	1		1	1		
80～89			3	2		
90～			1	1		
合計		1	8	7		

3-2. 採取部位別 ※同じ人から複数の採取部位で検出された数も含まれます。

(検出数)

3-3. 保健所管内別報告数

(人)

	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
東津軽+青森市			1			
中南						
三戸+八戸市			1	3		
西北			5	4		
上北		1	1			
下北						

3-4. 青森県の定点当たり報告数推移

—は 2026 年青森県、■—■は 2025 年青森県、▲—▲は 2026 年全国

